

ぶんきょう

入谷歌舞伎会 座間華道協会 座間市俳句連盟 座間市茶道連盟
座間市書道連盟 座間市謡曲連盟 座間市民謡連台会 座間市三曲協会
座間市民踊連盟 座間ふるさとガイドの会 谷戸山山野草会

R4. 3. 15

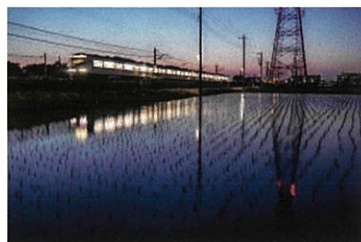
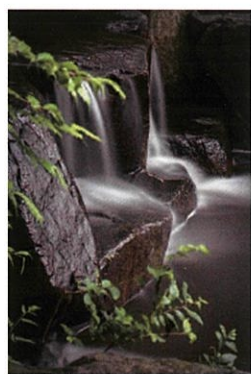
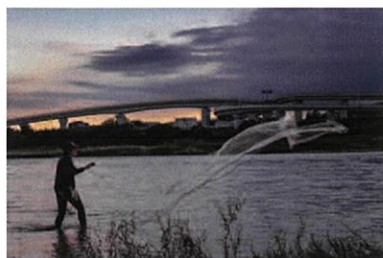
No. 91

発行 座間市文化協会

連絡先 座間市教育委員会教育部生涯学習課文化係 座間市緑ヶ丘1-1-1 ☎046-252-8476

市民ネット芸術祭写真展教育長賞受賞作品

テーマ部門（遺したい座間）



恵の水（座間市相模川、座間市芹沢公園、座間市入谷）

大原 宏麗さん

自由部門



メルヘン（座間市谷戸山公園）

高山 尚人さん

市民芸術祭菊花展

11月1日～5日に座間市役所1階アトリウムにて開催されました。



令和3年度 座間市民芸術祭

昨年度に引き続き、市民芸術祭のほとんどの部門が新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となりました。代替として座間市ホームページで作品を公開する市民ネット芸術祭が開催されました。

入谷歌舞伎会

一昨年末からの「新型コロナウイルス感染症」は、一時期ピークが終わったと思いきや、新たにオミクロンという変異株が現れ、全国で感染者が増大しています。世の中では、ワクチン3回目接種など話題になっていますが、うがい、手洗い、マスクは相変わらず欠かせない日常生活が続いています。

このような状況で4月の定期総会は書面決議となり、市民芸術祭での入谷歌舞伎公演も、昨年同様に、会員の勉強を兼ねて、ビデオの上映会となりました。昨年10月24日、ハーモニーホールで行われたビデオ上映会では、本歌舞伎のビデオ（二幕）と海老名の大谷歌舞伎のビデオを上映し、会員の鑑賞会となりました。会員の勉強会ということで、参加者も20名と小ぢんまりとした上映会となりました。

また、歌舞伎の伝承・承継を目的に小学生を対象に「こども歌舞伎教室」を開催していましたが、コロナ禍の中、学校の協力を得ることがままならず、開催することはできませんでした。なお、昨年7月、本会の歌舞伎指導をお願いしていた蛭間八重子師匠がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、本紙面をお借りしてご報告させていただきます。

谷戸山山野草会

りますので、改めて皆様方のご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。なお、現在会員募集中です。歌舞伎に興味のある方、またそうでない方もぜひお問い合わせください。

（島村利明）

谷戸山山野草会では、令和3年度は、ほぼ毎月定例会を開きました。運良く天候にも恵まれ、会員の皆さんと楽しい時間が過ごせました。屋外での定例会は、三密に陥らず安心して行えました。育てている植物を持ち寄るとそこは、ミニ展示場になります。皆で株分けをするなど、会のつながりを深めています。コロナ前のような皆での植え替え作業やバスツアーはできませんが、以前より気持ちは、密になれたように感じます。5月には、谷戸山山野草展も予定していますので、各々、作品出展のため、がんばっています。

（小島千栄子）

座間市茶道連盟

抹茶は免疫力を整え、風邪予防、リラックス効果等々たくさん効能が言われています。

煩わしい手順など気にせず、湯を沸かし、茶を点てる、そして静かに自服する。茶道の始まりです。

（大矢枝利子）



第四回大園流舞踊発表会
（令和3年6月27日）



英治会十周年発表会

座間市民謡連台会

伝統のある座間市民謡連台会は、日本の古くからの民謡舞踊の発表と会員の親睦を図ること。また、地域の方々の協力の中で、故郷の素晴らしい唄と踊りで皆さんと楽しみたいと思っています。

全ての会員の方との互助、春季発表会また秋季発表会、民謡舞踊会、会員のおさらい会、ボランティア活動、生涯活動の中で、声を出し、体を動かし元気で会員を長く続け、若い世代へ民謡舞踊の伝統を伝えたいと思います。

（大園華舟）

座間華道協会

市民芸術祭いけばな展が2年続けてネット開催になるなど活動が限られるなか、多くの方にいけばなに親しんでいただきたいと、会員が交代で市庁舎玄関ロビーにいけばなの展示を続けています。

昨年11月の「市制施行50周年記念式典」では、「市庁舎を四季折々の生花で飾り、訪れる市民の目を和ませ、環境の美化に寄与した」として、佐藤市長より感謝状を贈られるという嬉しいことがありました。

また、4年目を迎えた「親子いけばな教室」は、7か所のコミセン等で小学生から70代の方まで、楽しく月1回の活動を続けています。

（萩原玲子）

◆◆編集後記◆◆

地球的規模による新型コロナウイルス感染症拡大への対応が、生活における最大の関心事となつて、3度目の春です。そして、日常の変容はぶんきょうの活動にもポディブローのように少しずつ影響を与えてきています。

長年趣味として続けてきた文化活動から、今回の自粛を機に遠ざかる方を散見することも、そのひとつ。手立てはないのか。もう少し明るく、密なコミュニケーションが取れなかったものだろうか、去ろうとする方々。

北京五輪で活躍した女子カーリングのロコソラーレのように。笑顔が、声かけが。窮地をチャンスに変える。オリンピックを見ながらそんなことを考えました。

（広報委員 桑野剛）



おこと合奏発表会

座間市三曲協会

毎年、秋の演奏会で邦楽子供教室生が成果を発表しておりますが、昨年はコロナ感染対策に伴い余儀なく会が中止されました。

何とか披露の場を提供したいとの強い思いから、1月30日青少年センターにおいて、おこと合奏発表会を開催しました。緊張感に満ちた精一杯の演奏は、観客の心を掴み、子どもたちも達成感を味わうことができました。

密を避けての「小さな発表会」でしたが、久しぶりに充実した楽しいひと時を過ごせ、感慨深いものがありました。

(長谷川文子)

座間さつき会

“あなたは美しい花好きですか”
当会は、美しい花、大小の鉢植盆栽のさつきに魅せられて昭和51年に設立した趣味の愛好会です。

毎月第4日曜日に座間市公民館にて午前9時から正午まで、専門の講師又は経験豊かなベテラン会員の指導の下、研究会を行っております。

研究会には、男女どなたでも参加することが出来ます。ぜひ一度体験参加してみませんか。参加は無料です。

春の花季展示会、秋は市民芸術祭出展、研修旅行、親睦会、市及び文化協会行事等の参加、その他年間事業計画表に基づき実施予定です。

(問合せ) 加藤 046-254-3483

座間市詩吟連盟

大会の計画を立てては、中止の連続の二年間でした。大きな声を出せないことのダメージは、精神的にも、健康を維持するためにも私たちの想像を超えてジワジワときております。

当たり前のことが出来る日常に感謝し、笑顔で皆さんと会話できることを心より願っております。

一、6月 春季吟詠大会 東地区文化センター(予定)

二、市民芸術祭吟詠大会 ハーモニーホール座間小ホール(秋予定)

漢詩、和歌、俳句、現代詩、五行歌、あらゆる分野の詩を吟じます。

是非、聴きにいらしてください。お待ちしております

(小川順子)

座間市写真連盟

座間市写真連盟は、コロナ禍の下、座間市民活動サポートセンターのサイトを活用し、会員の感染防止と活動継続の両立を図りました。「梅は咲いたか桜はまだかいな(桜篇)」、「初夏の情景・梅雨の情緒」、「夏到来」、「私の秋」、「晩秋の趣き」と題した写真展をネット上で6回開催。リアルな活動は、感染状況を睨みながら9月初旬〜11月末の間、座間市立図書館でロビー展を、12月初旬には親睦撮影会を七沢森林公園で開催しました。

(石井敬一郎)

座間ふるさとガイドの会

① 毎月の定例会、勉強会を実施しました。

② 春の文化財巡りは延期となり、12月に実施しました。

③ 市民自主企画講座を11月に4回実施しました。

④ 年末に、会員が栽培した古代米の薫で注連縄講習会を実施しました。

(伊藤浩史)



注連縄講習会

座間市民踊連盟

月2回の講習会を第2土曜日、第4金曜日に開催しています。

昨年は、7月に北地区文化センターで、12月に一丁目自治会館で発表会(クリスマス会)を開きました。

今年も年2回は、発表会を開催したいと思えます。コロナで練習もできない状態ですが、皆さん集まると楽しく練習をしております。

若い方たちに入っていただきたいです。よろしくお願いいたします。

(安本文子)



発表会の様子

座間市俳句連盟

連盟としての活動は、昨年度に続き、ほぼ休眠状態でした。出口の見えない自粛期ですが、先の緊急事態宣言の解除後は、連盟に所属する4つのサークルそれぞれが普段の月次句会を復旧させています。ただ、昨今の第5波とも第6波とも言われる変種株による感染の広がりが、活動再開の趨勢に水を差すことになるのではないかと懸念しています。

4月からの新年度は、なんとか積極的な連盟活動を取り戻したいと考えています。勿論、感染症への従前の配慮をしつつです。

(桑野剛)

相武棋楽会

『へボ将棋、王より飛車を可愛がり』と川柳に唄われたり、『吹けば飛ぶよな、将棋の駒に』と歌に歌われたりする日本古来の室内娯楽ゲーム将棋を指してみませんか？

昨年は、野球界で全米を、また日本中を沸かせた二刀流大リーガー大谷翔平選手同様、将棋界にもスーパースター藤井聡太少年(19)『現5冠(竜王、王位、棋聖、叡王、王将)』の出現で大ブームを巻き起こし、話題を提供しています。

相武棋楽会の活動は、毎月第2日曜日(午前10時〜)、座間市公民館2階(日本間)で開催、楽しい一日を過ごしておりますので、ぜひ足をお運びください。お待ちしております。

(鈴木兼夫)

座間市短歌連盟

新型コロナウイルス・オミクロン株のまん延に、世界中の人々が脅かされるとは誰が予想したでしょうか。こうした状況に考慮して開催された「座間市民ネット芸術祭」において、短歌の応募作品が94首寄せられました。

それは、伝統文化の継承と共に、短歌に親しむものの心意気と言えましょう。

短歌会は紙上歌会等を繰り入れ、コロナ防止対策に万全の配慮を尽くしつつ、会員一同作歌への促進に努めています。初心者歓迎：お仲間を募集しています。

(伊田登美子)

座間市書道連盟

コロナ禍が2年も続き、書道連盟としての事業はなかなかできずいます。芸術祭の書道展は、2年ともネット配信によるものとなりました。応募作品は、展示のときより多少減ってはいますが、なかなかの力作でありました。幸い練習は、個人でするものなので、サークルに所属されている方は、先生に添削していただいた後に、作品を提出しています。作品の撮影は、写真連盟の方に協力いただきました。

10月には、講習会を企画しておりますが、コロナ禍で延期となり、2月に行う予定でしたが、再延期となりました。5月にできるように準備をすすめています。

連盟の役員は皆、高齢者なので、会って話し合いは難しく電話連絡で、発信しています。

一日も早くコロナの終息を願うばかりです。

(峰尾昌子)

座間市菊友会

座間市菊友会は、現在会員8名ほどの小さなサークルです。毎月一回の例会では、大菊作りの講習会と情報交換の場となっております。

最大のイベントは、毎年秋に座間市役所アトリウムで開催される市民芸術祭菊花展です。赤・白・黄の色とりどりの菊花が、来場される市民の皆様の心に和みを感じていただければと思います。

そのほかに、座間市緑化祭り・座間市公民館祭りに参加し菊苗・花苗の販売を行い、市民との交流の場としております。

(堀口正美)

座間市謡曲連盟

「羽衣」、「鶴亀」、「高砂」といった曲名や室町時代の世阿弥のお名前は皆さまよくご存知でしょう。

日本の古典芸能として、能は総合的な舞台芸術です。謡は、謡本により能の詞章をうたいます。

当会は、観世流能楽師・清水寛二先生の懇切なご指導の下に、個人レッスンにより、各自、曲に取り組んでいます。

正座で扇を持ち、背筋をピンと伸ばす発声法も独特で、深い呼吸、お腹の底から声を出すので、健康法にもなります。曲の持つ味わい、季節感、風情、ストーリーだけでなく、その時代の文化、人間の業など深く感じられます。

また、能楽堂での能の鑑賞の機会もあり、舞・面・装束などの視覚的要素、笛・鼓・謡の聴覚によるものは、日頃の稽古にも弾みをつけてくれるものです。

(宮本明薫)

座間市囲碁連盟

令和3年度の囲碁連盟会員は、高齢者が大多数で、コロナ対応により参加を控える方が多く、月1回の座間市公民館での例会は体温計・消毒液・マスクを準備し、ソーシャルディスタンスを確保して12回開催しましたが、参加者は例年に比べ半数程度でした。同好会囲碁団体戦は中止しました。コロナ対応で会員減となり、立て直しを含め厳しい状況となっております。

(馬場満喜美)

座間市川柳連盟

平成30年に連盟に加入した緑寿会の川柳クラブについては、以前にも紹介しましたが、このコロナ禍でも毎月休まず定例会を開催し、活発に活動しています。その一端をご紹介します。

昨年4月、拠点としている第一住宅自治会集会所で独自に川柳展を企画し、緑寿会川柳展を開催しました。

2日間にわたる展示会は、川柳友の会並びにあすなろ大学川柳クラブの協賛を得て、多数の参加者による130余の投句と、会員自筆の短冊が映え、盛況裡に開催されました。

今後、益々の活躍を期待しながら紹介いたします。

(小出秀二)



緑寿会川柳展

